

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に 要する期間
1	47	外泊や外出できる方が限られている。希望を伺いながら極力対応はしているが、体調や、業務状況によっては外出困難な時もある。本人の希望を叶える事で気分転換になったり、生活に楽しみが持てるようになる。外出だけにとらわれずホーム内でも楽しめるような企画を行っていく必要がある。	一人ひとりが楽しみのある生活を送れるように支援します	①個々の楽しみや喜びを把握する。(担当者) ②小さな事でも良いので、その方の特別な日を企画・実施する。(全入居者) ③地域行事や母体でのボランティアを事前に把握し参加する。 ④ホーム内で出来る活動の企画(両ユニット合同・・・GH行事予定に組み込む)	12ヶ月
2	19	家族訪問時や電話連絡等で、その都度状況は報告し家族と共有はしている。行事以外なかなか家族と共に過ごす時間が少ないように感じる。職員も含め、家族とゆっくり過ごせる時間を設け、共に支えていく関係づくり、絆を大切にしていけることが大事と考える。(地域も含め)	家族と共に過ごす時間を楽しく、ゆっくり過ごせるよう支援します。	①上記②と同様(特別な日と企画しても良い) ②ご家族様へ、もし一緒に過ごす時間があればどの様に過ごしたいかアンケートをとる。 ③アンケートを元を実施する。またどの様に協力体制があれば実施できるか家族と相談する。(担当者) ④地域の方へは、見学会やサポーター養成講座を開催し認知症の理解とグループホームの施設の理解をしていただく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。